

寄附収入増加に向けたインセンティブ付与について① 文化財保護のための資金調達ハンドブックの発行・周知

クラウドファンディング



CASE STUDY B-1
江戸時代の
歴史的建造物を
復元に資したい

概要
2019年11月に東京都葛飾区にある江戸時代の歴史的建造物「江戸時代 江戸屋敷」の復元に資するため、クラウドファンディングを実施しました。プロジェクトは、江戸時代 江戸屋敷の復元を目的として、クラウドファンディングを通じて資金を調達し、復元作業に活用することを目的としています。

課題
江戸時代 江戸屋敷は、江戸時代中期に建てられた歴史的建造物で、現在は空き家となっています。復元作業には、大規模な資金が必要であり、地元企業や個人からの寄付を呼びかけることが課題となりました。

解決策
クラウドファンディングを活用し、地元企業や個人からの寄付を呼びかけました。また、地元メディアやSNSを活用してプロジェクトの周知を図りました。

成果
クラウドファンディングを通じて、約100万円を調達しました。この資金は、復元作業に活用され、江戸時代 江戸屋敷の復元が実現しました。

CASE STUDY B-2
事業の継ぎを継守
武蔵一筆流の歴史
プロジェクト

概要
2019年11月に東京都武蔵野市にある歴史的建造物「武蔵一筆流」の歴史を継ぎを継守するため、クラウドファンディングを実施しました。プロジェクトは、武蔵一筆流の歴史を継ぎを継守することを目的として、クラウドファンディングを通じて資金を調達し、歴史を継ぎを継守することを目的としています。

課題
武蔵一筆流は、江戸時代中期に建てられた歴史的建造物で、現在は空き家となっています。歴史を継ぎを継守するためには、大規模な資金が必要であり、地元企業や個人からの寄付を呼びかけることが課題となりました。

解決策
クラウドファンディングを活用し、地元企業や個人からの寄付を呼びかけました。また、地元メディアやSNSを活用してプロジェクトの周知を図りました。

成果
クラウドファンディングを通じて、約100万円を調達しました。この資金は、歴史を継ぎを継守に活用され、武蔵一筆流の歴史が継ぎを継守されました。

ふるさと納税・企業版ふるさと納税



CASE STUDY E-1
寄附金で修復の
急務にあった
建造物の修復

概要
2019年11月に東京都武蔵野市にある歴史的建造物「武蔵一筆流」の修復に資するため、ふるさと納税を実施しました。プロジェクトは、武蔵一筆流の修復を目的として、ふるさと納税を通じて資金を調達し、修復作業に活用することを目的としています。

課題
武蔵一筆流は、江戸時代中期に建てられた歴史的建造物で、現在は空き家となっています。修復作業には、大規模な資金が必要であり、ふるさと納税を通じて資金を調達することが課題となりました。

解決策
ふるさと納税を活用し、地元企業や個人からの寄付を呼びかけました。また、地元メディアやSNSを活用してプロジェクトの周知を図りました。

成果
ふるさと納税を通じて、約100万円を調達しました。この資金は、修復作業に活用され、武蔵一筆流の修復が実現しました。

CASE STUDY E-2
築城400年にむけ
寄附金の使い道を
拡充

概要
2019年11月に東京都武蔵野市にある歴史的建造物「武蔵一筆流」の修復に資するため、ふるさと納税を実施しました。プロジェクトは、武蔵一筆流の修復を目的として、ふるさと納税を通じて資金を調達し、修復作業に活用することを目的としています。

課題
武蔵一筆流は、江戸時代中期に建てられた歴史的建造物で、現在は空き家となっています。修復作業には、大規模な資金が必要であり、ふるさと納税を通じて資金を調達することが課題となりました。

解決策
ふるさと納税を活用し、地元企業や個人からの寄付を呼びかけました。また、地元メディアやSNSを活用してプロジェクトの周知を図りました。

成果
ふるさと納税を通じて、約100万円を調達しました。この資金は、修復作業に活用され、武蔵一筆流の修復が実現しました。

地域活性化ファンド からの投資



CASE STUDY D-1
観光地特産品
分譲型ホテルを
運営

概要
2019年11月に東京都武蔵野市にある歴史的建造物「武蔵一筆流」の運営に資するため、地域活性化ファンドを活用しました。プロジェクトは、武蔵一筆流の運営を目的として、地域活性化ファンドを通じて資金を調達し、運営作業に活用することを目的としています。

課題
武蔵一筆流は、江戸時代中期に建てられた歴史的建造物で、現在は空き家となっています。運営作業には、大規模な資金が必要であり、地域活性化ファンドを通じて資金を調達することが課題となりました。

解決策
地域活性化ファンドを活用し、地元企業や個人からの寄付を呼びかけました。また、地元メディアやSNSを活用してプロジェクトの周知を図りました。

成果
地域活性化ファンドを通じて、約100万円を調達しました。この資金は、運営作業に活用され、武蔵一筆流の運営が実現しました。

PFI方式/ コンセッション



CASE STUDY G-1
コンセッション方式
で、歴史的建造物の
町家ホテルを運営

概要
2019年11月に東京都武蔵野市にある歴史的建造物「武蔵一筆流」の運営に資するため、PFI方式/コンセッションを活用しました。プロジェクトは、武蔵一筆流の運営を目的として、PFI方式/コンセッションを通じて資金を調達し、運営作業に活用することを目的としています。

課題
武蔵一筆流は、江戸時代中期に建てられた歴史的建造物で、現在は空き家となっています。運営作業には、大規模な資金が必要であり、PFI方式/コンセッションを通じて資金を調達することが課題となりました。

解決策
PFI方式/コンセッションを活用し、地元企業や個人からの寄付を呼びかけました。また、地元メディアやSNSを活用してプロジェクトの周知を図りました。

成果
PFI方式/コンセッションを通じて、約100万円を調達しました。この資金は、運営作業に活用され、武蔵一筆流の運営が実現しました。

見せる修理 修理観光収入を 工事費の一部に充当



CASE STUDY H-3
修理観光が
工事費の一部に
充当

概要
2019年11月に東京都武蔵野市にある歴史的建造物「武蔵一筆流」の修復に資するため、見せる修理を活用しました。プロジェクトは、武蔵一筆流の修復を目的として、見せる修理を通じて資金を調達し、修復作業に活用することを目的としています。

課題
武蔵一筆流は、江戸時代中期に建てられた歴史的建造物で、現在は空き家となっています。修復作業には、大規模な資金が必要であり、見せる修理を通じて資金を調達することが課題となりました。

解決策
見せる修理を活用し、地元企業や個人からの寄付を呼びかけました。また、地元メディアやSNSを活用してプロジェクトの周知を図りました。

成果
見せる修理を通じて、約100万円を調達しました。この資金は、修復作業に活用され、武蔵一筆流の修復が実現しました。

寄附収入増加に向けたインセンティブ付与について② 企業版ふるさと納税の推奨

■ 近年、企業版ふるさと納税を活用した文化芸術関係の好事例も出てきている。

企業版ふるさと納税の好事例

①岡山県瀬戸内市の事例

36 岡山県瀬戸内市

— 伝統の造り手力を岡山のカナで守り抜く —

国宝「山鳥毛」を生まれ故郷へ

— 伝統の造り手力を岡山のカナで守り抜く —

「国宝「山鳥毛」を購入し、日本刀文化を未来に伝える」

瀬戸内市長船地域は、かつて全国一の日本刀の生産量を誇り、日本刀の聖地とも呼ばれています。しかし、市内に国宝や重要文化財指定の刀剣は残されていませんでした。そのような中、備前刀の中でも1、2を争う逸品である国宝「山鳥毛」が岡山県外へ流出する動きがあり、これを購入し、岡山県で守っていくとする事業を立ち上げました。これを機に日本刀文化継承の推進を進めることでシビックプライドにつなげ、日本刀文化を子どもたちの教育素材として活用します。また、観光資源としても活用し、関係人口・交流人口の増加にもつなげます。

「山鳥毛」を購入することができ、守り続ける第一歩となった

- 普及啓発活動のなかでシビックプライドが育まれた
- 事業が目される認知度が上がりイメージアップ
- 関係人口が大幅に増え、市に貢献したいという気持ちを持った人が増加

「山鳥毛」を購入することができ、守り続ける第一歩となった

上右瀬戸内市で、備前刀の最高級品といわれる国宝「山鳥毛」(刀) (作: 山鳥毛)

地方公共団体 寄附受入れの経緯・工夫

寄附を募るにあたって、自市に縁のある企業や刀に関心がある企業をリストアップし、電話等で連絡するところから開始。当時の事業や企業版ふるさと納税制度の内容を説明したパンフレットを企業に届けたことや、市内の地元紙に新聞広告を出したことも効果がありました。市長のトップメッセージが寄附の決め手となったケースも多いですが、寄附企業が納税の企業に呼びかけてくれた結果、即決で寄附が決まったこともありました。ふるさと納税やクラウドファンディングとあわせて寄附会を行ったことや、地域新聞や雑誌などの協力を得たことで、事業そのもののイメージや認知度が高まったことも寄附獲得につながりました。また、プロジェクトに特選してくれた、地域で愛用のある茶室アンパダーに特選し、当茶室と企業とのパイプ役を頼っていた関係者にも大きな効果がありました。多くの刀に日本刀に興味を持っていただくため、刀に関するある種イベント等で積極的にPRを行い、改めて日本刀に関するアツク情報を積極的に発信しました。

寄附企業 寄附の経緯・効果

岡山県の宝を守ることで地域に貢献したいという思いから寄附を決めました。瀬戸内市から届かれた内容書では、実際に購入した国宝を目の前で見ることができ、事件に巻き込まれてよかったと感じています。

■ (2020) 寄附する企業

寄附金額	2,372,380円
寄附件数	312社(内中)
寄附企業	174社

岡山県瀬戸内市工業振興協会、岡山県観光機構、岡山県観光機構、岡山県観光機構、岡山県観光機構

■ (2020) 寄附する企業

寄附金額	27,000円
寄附件数	1社

株式会社ペーパースタッフ、株式会社ペーパースタッフ、株式会社ペーパースタッフ、株式会社ペーパースタッフ、株式会社ペーパースタッフ

②香川県の事例

40 香川県

— 現代アートで地域を活性化 —

海外からの来場者を呼び込み 国際交流を強化

「アジア各国からの来場者の受入態勢を強化」

2010年から3年に一度のトリエンナーレ方式で開催している「瀬戸内国際芸術祭」は、現代アートを活用して地域の活性化を推進する取組であり、回を重ねるごとに盛り上がりを見せています。芸術祭の開催年以外にもアート作品を継続展示するなど、地域が一体となって交流人口の拡大に向けた取組を行ってきました。本事業では、2019年に開催された芸術祭に向けて、特にアジア各国からの来場者の受入態勢を強化しました。多言語対応スタッフを育成するとともに、身体字、簡体字、ハンダで記載されたパンフレットや案内板を新たに用意したことで、よりスムーズな運営につながりました。

「世界各国からの来場者が増え、経済効果が30%アップ」

- 「瀬戸内国際芸術祭」の来場者数、来場者の外国人割合ともに増加
- 県内外国人宿泊者数が増加
- 特にアジア各国からの来場者受入態勢が整い、円滑な案内につながった

多くの外国人からボランティアスタッフがボランティアで参加し、Photo: Miyuki Shirota

地方公共団体 寄附受入れの経緯・工夫

従来より寄附をいたしていた芸術祭の協賛企業等から企業版ふるさと納税を活用した寄附をいただくことが多いです。寄附企業には、芸術祭における活動や展示作品などを取りまとめた記録冊を贈呈するとともに、次回の芸術祭に向けた準備の進捗状況やイベントなどを伝えるメールマガジンを発行するなど、寄附をいただいた後においても、寄附企業との関わりを大切にしていくことが継続的な寄附につながっています。多くの協賛企業が、芸術祭での受付業務や作品制作のボランティア活動、自社ホームページで芸術祭を盛り上げる活動など、自発的な取組を通じて事業をサポートしてくれています。

寄附企業 寄附の経緯・効果

活性化が進む瀬戸内海の美しい島々に活力を取り戻そうとする芸術祭の開催に賛同して継続的な寄附を行っています。併せていた美南島の小中学校の再開や、国立ハンセン病療養所がある大島への定期航路の就航、休耕田となっていた農家の田舎の復元などを、芸術祭が地域の活性化に寄与していることも寄附のモチベーションにつながっています。

■ (2020) 寄附する企業

寄附金額	2,495,500円
寄附件数	27,000円
寄附企業	1社

株式会社ペーパースタッフ、株式会社ペーパースタッフ、株式会社ペーパースタッフ、株式会社ペーパースタッフ、株式会社ペーパースタッフ

③京都府の事例

アート&クラフト市場の活性化と文化観光のコラボによる文化芸術産業創生事業

若手アーティストたちがコンテンポラリーに表現した作品が一堂に展覧される「ARTISTS' FAIR KYOTO」の開催を通して、既存の美術ファンに留まらず、企業経営者など支援者となる新たな層とアーティストを結び、地方にあってこそ才能ある作家が特長的に活動し、新たな文化が創造され続けるサイクルを整え、かつ、文化遺産を舞台にアーティストの創造性を生かして新たな発表の場をつくり、社会で芸術を共有する機会を広がりを生み出すことを目指します。

令和2年度の取組

「ARTISTS' FAIR KYOTO 2021」の開催

1. 時期：2021年3月6日(土曜日)～7日(日曜日)
2. 会場：京都文化博物館別館、京都新聞ビル地下1階
3. 概要：

- ・国内外で活躍するアーティスト選がセレクトした、将来に期待を寄せる若手アーティスト達の作品を主体に、京都を代表する近代建築をユニークにしつらえた会場で展示公開。「美術展とアートフェアの境を取り払った新しいアートイベント」として人気を集める。
- ・会場では若手アーティスト選が観客を待ち受けており、作家×観客の交流も交えたコミュニケーションによって完成するオルタナティブで「熱気溢れる」展覧会。国内外のアート関係者、アートファンのみならず、都内・関西の著名な企業経営者から、訪日観光客まで多彩な層が来場。
- ・展覧会開催後にも若手アーティスト選へ国内外のアート関係者、企業関係者等から多くの制作依頼があり、国内外で広く、次世代の日本の美を発信する機会となっている。

※開催を予定していた、「Art Collaboration Kyoto」は新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度に延期。